

1999年(平成11年)7月2日(金曜日)

(10)

社会の中での「学協会」の位置付け

学協会が社会に 果たす役割

▷ 1



日本工学会会長 大橋 秀雄

公器としての自覚が重要

研究者や、医師・弁護士・会計士・技術者など高度な専門職業人にとって、学協会は身近な存在である。新しい専門知識の吸収や研究発表の場には不可欠な組織で、自分の専門に近い幾つかの学協会に所属しているのが普通である。しかしそのような必要性がない人々には、学協会はほとんど無縁の存在であり、その役割や実態は全く知られていない。学会という言葉を誤解する者が少なくない。その誤解を正すのが本稿の目的である。

研究成果を挙げても、その成果の評価と公表を、第三者すなわち学協会に委ねている。研究成果が学術の進歩のために相

体として発足し、会員相互の連携と協力を進めて専門家をまとめる地位向上を図る目的を持って設立された深く関わっている。現在は社会が求めているのは人的交流の場として重要な役割を果たしている学協会について、その活動の支援

と機能の活用を図る「二文が埋め込まれた」。これは、国策の中で学協会の役割が初めて認知された記念すべき一文である。それによって、学協会の運営に当たっては、社会的公器としての役割自覚が一層重要となってきた。

学協会は、学術先進国では中立性を保つ意味からも非政府・非営利組織(NPO、NPO)の形であり、その活動は基本的に所属会員の会費によって運営されている。歴史的に見ても、学協会が社会を対峙とする場となった活動が少なかった。運営・活動経費の監督者責任は国家の原則で負わなければならない。

研究者は大半、国立研究機関、民間団体で約六十万人。それに研究者には属さないが二百五十万人。技術者のうち五十万人は何かかの学協会に属している。これを考えれば、我が国の学協会会員数は百五十万人前後と推定される。国民平均では必ずしも、学協会に所属している人は八十人に一人にすぎない。つまり、それが果たしている役割は社会が非常に重要である。

当の貢献を果たしているかという公平な判定は、専門家集団としての学協会の相互評価(peer review)機能に拠るのが学問の長い伝統となっている。学術は、知識の創造基地としての大学や研究機関と、その発信基地としての学協会が、競争と連携のふたつを助け合っている健全な関係を築いていく必要がある。

一九九五年に制定された科学技術基本法は、科学技術の振興に関する施策の基本を定めるもので、研究開発の促進、研究環境の整備、国際交流の促進などを、財政の裏付けのもとに計画的に推進することを規定している。科学技術振興法に学協会が積極的に参画している。また、定期的な法律

1. 学術の発展を通じて社会に貢献する役割(association societyとしての役割)
2. 専門家集団として、特定の学術領域の進歩に対する貢献を相互に評価・判定する役割(学会の専門職人(association members)としての役割)
3. 社会の発展に寄与する役割(学会の専門職人(association members)としての役割)

学協会は、基本的に上述の二つの役割を果たしている。多くの学協会が、たいてい日本機械学会のように、和文名「学術」を冠して前者の役割を全面に任じているが、英文名は「学会」である。International Association of Mechanical Engineers(国際機械学会)の専門職業人の役割を強調している。

学術の進歩は、第一機能的には、それに直接関与する国立研究機関、民間研究機関などからなる研究実施機関の成果に負っている。しかし、各研究機関は研究を実施して

このように現実的シミュックを受けた学協会関係者は、日本学術会議を中心に学協会の存在意義を積極的に発言し始めた。その熱意が実ったのは、一九九六年に制定された科学技術基本計画の中に、「研究評価、情報の発信・交換の場として重要な役割を果たしている学協会について、その活動の支援

このように歴史的経緯にも関わらず、科学技術の進歩とその社会的影響力の増大に対して、学協会が果たす役割が改めて認知されている。一九九五年一月に起った阪神淡路大震災に際して、土木学会、日本建築学会などの多くの学協会が、それぞれ専門の立場から全国の専門家を動員してタイムリーな調査・分析を行い、学術的記録を残すのに努めた。行政にも反映した。これは、国家機関、企業などの調査とは異なり、完全に中立な専門家集団としての特色が十分に発揮されており、国民生活と密接に連関する貴重な貢献である。学協会が果たしている社会的役割は、国民の目に触れることが少ないが、災害などの学術緊急事態を通じて、その重要性が改めて明らかになった。

学協会が、基本的に上述の二つの役割を果たしている。多くの学協会が、たいてい日本機械学会のように、和文名「学術」を冠して前者の役割を全面に任じているが、英文名は「学会」である。International Association of Mechanical Engineers(国際機械学会)の専門職業人の役割を強調している。

学協会は、基本的に上述の二つの役割を果たしている。多くの学協会が、たいてい日本機械学会のように、和文名「学術」を冠して前者の役割を全面に任じているが、英文名は「学会」である。International Association of Mechanical Engineers(国際機械学会)の専門職業人の役割を強調している。

学協会は、第一機能的には、それに直接関与する国立研究機関、民間研究機関などからなる研究実施機関の成果に負っている。しかし、各研究機関は研究を実施して

このように現実的シミュックを受けた学協会関係者は、日本学術会議を中心に学協会の存在意義を積極的に発言し始めた。その熱意が実ったのは、一九九六年に制定された科学技術基本計画の中に、「研究評価、情報の発信・交換の場として重要な役割を果たしている学協会について、その活動の支援

このように歴史的経緯にも関わらず、科学技術の進歩とその社会的影響力の増大に対して、学協会が果たす役割が改めて認知されている。一九九五年一月に起った阪神淡路大震災に際して、土木学会、日本建築学会などの多くの学協会が、それぞれ専門の立場から全国の専門家を動員してタイムリーな調査・分析を行い、学術的記録を残すのに努めた。行政にも反映した。これは、国家機関、企業などの調査とは異なり、完全に中立な専門家集団としての特色が十分に発揮されており、国民生活と密接に連関する貴重な貢献である。学協会が果たしている社会的役割は、国民の目に触れることが少ないが、災害などの学術緊急事態を通じて、その重要性が改めて明らかになった。

学協会は、基本的に上述の二つの役割を果たしている。多くの学協会が、たいてい日本機械学会のように、和文名「学術」を冠して前者の役割を全面に任じているが、英文名は「学会」である。International Association of Mechanical Engineers(国際機械学会)の専門職業人の役割を強調している。

学協会は、基本的に上述の二つの役割を果たしている。多くの学協会が、たいてい日本機械学会のように、和文名「学術」を冠して前者の役割を全面に任じているが、英文名は「学会」である。International Association of Mechanical Engineers(国際機械学会)の専門職業人の役割を強調している。